

# 通常の対面授業再開までの学校説明会

令和2年6月20日（土）

独立行政法人国立高等専門学校機構

岐阜工業高等専門学校長 伊藤 義人

## 1. はじめに

みなさん、おはようございます（こんにちは）。校長の伊藤でございます。

新型コロナウイルスのため、今年度になって、まだ一度も岐阜高専に来られていない学生が大半です。4月から始めた慣れない遠隔授業に大変苦労している学生も多くおられると思います。教員の方々も遠隔授業の準備に、多くの時間をさき、大変苦労されています。岐阜高専では、現在、全科目で遠隔授業を実施し、全ての学生がアクセスできています。まだまだ、改善の余地はあり、特に学生の方々に過度な負担がかからないように工夫をしていきたいと思っております。

本日は、岐阜高専の現状と今後の予定について、学年別の学校説明会を行います。学生とその保護者の方々に、Teams 会議と一緒に参加いただいております。なお、学級担任などによる各クラスの保護者懇談会や個別懇談会は、遠隔で別途行われる予定です。

本日は、まず私から、岐阜高専の基本的な考え方などについて説明し、その後、3名の主事・副校長から担当分野について必要に応じて詳細をご説明します。大勢の方々が参加していますので、直接の質疑応答は難しいので、後でお送りしますフォームズのアンケート、または、学級担任（専攻科：指導教員）などへ E-mail でご質問を頂けますでしょうか。直接ご返事を差し上げますとともに共通するものは、ホームページにも回答を掲載します。

## 2. 基本的な考え方

既に、全国的に小・中学校や高校は段階的な登校から全面的な対面授業に入りつつあります。一方、高専においては、県をまたがって通学・通勤する学生と教職員がおり、また、全国から学生が集まる寮を持っており、開校や開寮するときの新型コロナウイルス感染防止対策について、保健衛生当局などとの相談が必須となっています。そのため、非常に残念ですが、すぐには開校や開寮はできない状況です。学生およびその保護者や関係者の安全を第1に考え、また、新型コロナウイルスのクラスターを発生させないことは、社会に対する責務と考えています。

東海地区の5つの国立高専の校長とは、毎週、情報共有会を遠隔で行い、各高専における対応を話し合っています。最終的には、各高専の判断で種々の対応を行っていますが、ほぼ、現時点では同じような対応となっております。また、国立情報学研究所が主催して、岐阜高専も加盟している大学 ICT 推進協議会が協賛している、「遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム」にも毎週参画して、日本だけでなく世界の遠隔授業の情報を集めています。

### 3. 開寮および対面授業の開始のための準備

ほぼ、岐阜高専の感染防止ガイドラインを作成し終えており、現在、関係機関と調整中です。どのように消毒を行い、万一、新型コロナウイルスが発生したときの対処など、感染防止ガイドラインを作成して種々の対応が可能なように準備しています。

寮の開寮を実施するために、寮生およびその保護者のご協力を得て、2人部屋を解消して個室化をはかっています。ご迷惑をかけている学生やその保護者もいますが、感染防止の観点から個室化は必須と考えています。

なお、開校や開寮をした後でも、新型コロナウイルスの第2波、第3波がきた場合は、再度、学校と寮を閉め、遠隔授業に戻ることもありえます。

### 4. 段階的な登校

8月7日(金)まで遠隔授業を実施して、その後夏休みとし、8月31日(月)から9月29日(火)まで達成度評価期間として、状況が許せば全学生に、三密を避けて順次登校をしてもらい、実験・実習などの補習・補講および期末試験を予定していることは、既にお伝えしています。

現在、それ以前の7月6日(月)から段階的に学校を部分開校することを計画しています。まず、専攻科2年次の学生に登校をしてもらい、特別研究などを実施してもらいます。ただし、まだ寮が開寮せず、学校に来られない学生もいますので、専攻科および本科とも遠隔授業は続けます。登校した学生は、特別研究を実施するとともに、学内の教室で遠隔授業を受けるか、対面指導を直接受けます。

本科1年生に関しては、クラス別に保護者と一緒に、8月29日(土)に来ていただき、種々のガイダンスなどを実施するとともに、クラスの学生どうしが交流できるようにしたいと考えています。また、その他の5年生などについては、8月24日(月)からの1週間については、特に必要とされる学科では、卒業研

究および実験や実習の補講・補習授業ができるようにしたいと思います。そのため、寮に関しても、この段階的な登校などを考慮して、8月23日（日）から部分開寮を行い、最終的に8月30日（日）には全面開寮の予定です。

## 5. クラブ活動

岐阜高専では、勉学だけでなく、クラブ活動やコンテストなどの課外活動を強く推奨しています。しかし、今回の新型コロナウイルスの感染を防止し、クラスターを発生させないことは、学生やその保護者および関係者の安全だけでなく、社会的な責務でもあります。そのため、クラブ活動は、開寮し対面授業が全面的に実施される以前には、遠隔での活動を除いて解禁しません。現在計画されている県レベルで行われる野球や陸上などの8月の大会にも、大変残念ですが参加できません。

なお、8月10日（月）からの夏休み期間については、クラブ活動再開のための準備期間として、感染防止のガイドラインを遵守するとともに、クラブ活動顧問の指導の下、希望者が限定的な自主練習がグラウンドで可能なようにしたいと思います。

高専連合主催の高専体育大会は、実施時期が冬になるラグビーのみは検討中ですが、その他の競技は今年度においては全て中止となっています。ただし、対面授業が開始され、クラブ活動が解禁になった時点で、十分な新型コロナウイルス防止対策を取って、近隣の高専との交流試合などは、今後検討したいと思います。

コンテストについては、ロボコンは遠隔で実施し、グループは組みますが、ロボットの製作は個人で行うことになりました。プログラムコンテストも遠隔で行いますが、競技部門は中止し、課題と自由部門が実施されます。デザインコンペティションも原則遠隔で実施ですが、まだ、詳細は検討中です。英語プレゼンテーションコンテストは、遠隔で行うか中止かを検討中です。

## 6. 今年度の学校行事

第2波、第3波の新型コロナウイルスの蔓延の可能性が高いと言われており、今年度の大きな学校行事については、中止または遠隔で行うこととなります。

高専祭については、専門展の準備ができず、また、飲食を一般に提供すること

は困難であり、予定されていた時期での高専祭は、遠隔で実施することを検討してもらっています。

オープンキャンパスについては、中止して、ウェブなどで代替します。

学生の将来に関係するインターンシップについては、十分配慮をしながら実施することを考えています。海外インターンシップは、残念ながら今年度はほぼ不可能と考えています。米国シアトルへの研修旅行も、可能なら遠隔で行う予定です。

## 7. お願い

新型コロナウイルスが一刻も早く終息し、皆さんが岐阜高専に通学され、通常授業が受けられるように、できることはすべて行い、この国難に皆さんと一緒に頑張って打ち勝ちたいと思います。そのため、検温などの健康管理は、今後ずっと続け、Moodleで報告をお願いします。